

第63回北海道書道展 公募要項・出品規定

公募要項	1.展覧会	【公募】2022年5月4日(水・祝)～5月8日(日) 札幌市民ギャラリー(中央区南2東6) 【北の書作家2022(招待会員・会員)】4月27日(水)～5月1日(日) 札幌市民ギャラリー 【会友】5月6日(金)～5月10日(火) 札幌パークホテル「パークプラザ」 (入場料)3展覧会共通入場券500円、前売りは300円(3展を各1回ずつ鑑賞いただけます)高校生以下無料
	2.部門	第1部 漢字(3字以上、写経含む) 第2部 大字書(1字、2字の漢字) 第3部 かな 第4部 詩文書 第5部 墨象・前衛 第6部 篆刻・刻字
	3.鑑審査・賞	公募作品は会員によって鑑審査を行い、入選者には入選証を贈る。ただし、第62回展特選受賞者は、当該部門に限り無鑑査とする。入選作品の中から、優秀作品には特選、秀作を贈り、作品写真を作品集に掲載する。23歳以下の特選受賞者には、あわせてU23奨励賞を贈る。
	4.発表	4月上旬に出品者全員に成績を通知するほか、入選入賞者は4月中～下旬に北海道新聞紙上で発表する。
	5.表彰式	表彰式 5月7日(土)午後1時～ 会場 道新ホール ※詳細は成績通知の際にお知らせします。
	6.その他	出品者は出品規定、鑑審査および展示について異議を申し立てることが出来ない。
出品規定	1.出品資格	満16歳以上(生年月日が2006年4月1日以前の者)。道内在住または北海道に在住したことがある者。
	2.出品作品、表装	未発表のものに限る。作品を裏打ちする台紙は、下記の指定取扱店(表具店)が指定したものに限る。帯、枠を入れるなどの装飾を含め、作品への表装は一切認めない。作品に鉛筆での氏名記入をしない。
	3.作品の形式	作品はすべて裏打ちのまま鑑審査を受ける。
	4.出品点数	各部門とも1人2点までとする(2点とも同じ指定取扱店に提出すること)。 ※ただし、入選・入賞は1点のみとなる。
	5.作品の大きさ(作品本紙の大きさ)	Ⓐ 70センチ×136センチ以内(全紙) Ⓑ 55センチ×175センチ以内 Ⓒ 88センチ×88センチ以内 Ⓓ 篆刻は24.5センチ×36センチ以内 ※印影のみを出品すること Ⓔ 刻字は2754平方センチ以内。ただし、一辺の長さは91センチ以内とする。
	6.作品締切	2022年2月28日(月)までに 下記指定取扱店へ 出品料とともに 届けること。(厳守)
	7.出品料(税込)	◎出品料には裏打ち代・取扱店手数料が含まれる。下記指定取扱店へ納入すること。 ① 24歳以上79歳まで 1点につき14,000円。同一部門2点出品者は2点目7,000円。 ② 80歳以上 1点につき10,000円。同一部門2点出品者は2点目7,000円。 ③ 19歳以上23歳まで 1点につき10,000円。同一部門2点出品者は2点目7,000円。 ④ 16歳以上18歳まで 1点につき5,000円。同一部門2点出品者は2点目5,000円。 ※年齢は 2022年4月1日現在の満年齢 。
	8.添付書類	出品票(コピー不可) ※第61回展、第62回展に出品された方は指定の出品票Ⓐ (出品者の氏名やバーコードなどが印字されたもの)を使用すること。紛失などで出品票が必要な場合は、事務局までご連絡ください。
	9.展示	全入選・入賞作品は貸枠装のうえ展示する。貸枠料9,000円(作品サイズⒷは10,000円、篆刻は4,500円)は別納とし、 <u>4月1日から4月25日までに</u> 指定取扱店に 納入 すること。特選作品の一部が移動展に回ることがある。 ※料金は税込
	10.移動展	入選・入賞し移動展出品を希望する場合は、出品票の「移動展希望会場欄」に記入すること。移動展出品手数料を取扱店に納入すること。手数料は1会場につき3,300円(第6部は1,100円)、函館展は手数料のほかに2,000円の協賛金が必要。 ※料金は税込 <函館展>6月30日(木)～7月6日(水) 道立函館美術館 <網走展>7月10日(日)～7月24日(日) 網走市立美術館 <伊達展>8月20日(土)～8月26日(金) だて歴史の杜カルチャーセンター ※追加申込は4月20日(水)までに事務局と取扱店に連絡すること。
	11.その他	・上記出品規定に沿わない場合は受け付けない。 ・作品の保管は5月末日までとし、その後の責任は負わない。(移動展出品者は8月末日まで) ・返送希望の場合は返送手数料2,500円(税込)を出品料と同時に納入すること。 ・発表、賞状、名札は出品票の姓号、字体を使う。ただし、新聞発表の際は常用漢字に直すこともある。
指定取扱店	・京美堂 〒005-0021 札幌市南区真駒内本町3丁目7-12 TEL・FAX011-581-6661 ・昌文堂 〒001-0011 札幌市北区北11条西4丁目2-23 TEL011-746-5221 FAX011-746-2070 ・日成堂 〒064-0922 札幌市中央区南22条西9丁目アートパレス2階 TEL011-561-9074 FAX011-561-3981	

招待作家

中野 北溟

招待会員

我妻 緑巢 石崎 閑雲 今多 錦鳳 長内 敬子 加藤 幸道 北川 稲谷 君 庸子
酒井 精舟 渋谷 北象 島田 一嶽 島田 青丘 白土 恵香 新谷 谿雪 大門 玉泉
高橋 静峯 高畑美智子 竹内 津代 千鶴 敏子 椿澤 雷鷲 中嶋 香苑 中野 歸山
中野 層翠 野村 墨水 原田 示峰 伴 恵美子 東志 青邨 平田 鳥閑 松本 暎子
水上 祥邦 水野 松雪 山田 太虚 山本 玉沙

会員

※審査は当番審査員(○印)によって行われます

<第1部 漢字>(55人)

飯塚 大海 石田 壱城 ○和泉 星沙 伊藤 紫光 井上 夕霞 宇野 雉洞 遠藤 玲子
大橋 静琴 奥村 素紅 加藤 青園 亀岡 芳扇 ○木村 翠苑 ○國澤 翠風 久保田 朴雲
○小原 藝城 ○小原 道城 近藤 紫陌 ○斉藤 香月 ○桜居 玉香 佐々木 香流 佐藤 翔雲
島田 美紀子 嶋津 玉泉 島本 松簾 杉山 透雪 鈴木 紅舟 ○鈴木 繁樹 ○清野 春莊
高橋 素香 ○竹村 節子 ○田中 翠甫 ○出村 太幹 中西 春湖 ○永原 博子 中村 懐玉
○浪田 美芳 ○成田 成峰 ○橋本 圭風 ○長谷川 大雅 ○服部 柚香 ○早坂 壺陽 樋田 香雪
○平井 翠雪 ○福田 遥岑 ○藤本 清泉 本間 太洲 ○松山 朴羊 水間 臥猪 宮沢 爽光
○山内 虹苑 山内 太鶴 吉岡 静風 和田 遙花 ○渡辺 美鴻 渡辺 美明

<第2部 大字書>(34人)

青木 空谿 太田 欽舟 小笠原 紅華 ○小川 博水 奥家 秀岳 ○加藤 東虹 鎌田 珠泉
○河端 桃香 河村 遊霞 清兼 吼 熊川 景子 ○小林 慶風 小林 聖鳳 駒澤 静秀
今野 冲岳 椎名 恵舟 高橋 祥雲 ○瀧野 喜星 ○武田 恵 ○野中 竹峰 ○羽毛 蒼洲
細川 貴久 本間 孤峯正啓 ○松永 律子 ○三橋 啓舟 ○湊 蒼玄 ○矢野 鴻洞 山崎 大寒
○山田 起雲 ○吉田 晴賀 ○吉田 瞭風 ○吉見 奎鳳 渡邊 層山 ○渡部 天外

<第3部 かな>(37人)

○明石 郁子 ○阿部和加子 岩村 遊希 ○大川 壽美子 押上 万希子 小野 木沈香 加藤 紀久子
狩野 紅舟 ○北 彰子 木村 征子 ○草薙 正子 紅林 幸子 河内 栄子 佐々木 公江
○佐々木 優子 ○佐藤 伸子 ○真田 昇 下村 美穂 ○東海 林淳子 菅原 京子 鈴木 竹華
○関 祐子 竹内 松韻 竹本 きみ ○千葉 和子 寺田 千秋 土井 一剛 長佐 古良子
滑志田 方苾 ○野田 恵美子 ○乗木 美穂子 ○福本 恭子 前川 悠紀子 眞木 千賀子 ○村田 ゆかり

<第4部 詩文書>(66人)

○相澤 太煌 秋山 翠聲 ○阿部 寿山 ○在田 佳子 安保 天壽 ○井川 静芳 ○石原 北陽
磯波 水鈴 市橋 佐代子 伊藤 紫園 遠藤 香峰 ○大泉 堅治 ○大川 一濤 大川 宣子
大高 蒼龍 ○葛西 青龍 加藤 正叙 ○川原 薫 君田 康子 清本 和子 小林 融之
○斎藤 大麓 ○櫻井 九農 品田 國子 上西 弘美 杉山 歌子 ○鈴木 大有 ○須田 廣充
大上 凌胡 高橋 魁山 ○高橋 海堂 ○瀧野 時雪 田中 真喜子 ○植本 祥芳 ○出村 耕山
○天満 篤子 東藤 義文 ○飛世 智恵 中上 ゆかり 中河 濤人 中川 蘆月 ○新井 山蘭牛
○西 恵翠 ○野水 錦泉 袴田 瞳 橋本 聳山 畠山 紫香 ○東方 鳳山 深江 京州
○藤原 太眼 ○古谷 玄山 籬 宥行 松岡 一真 ○溝 掬水 ○宮岡 蝶溪 宮崎 騁洋
茂垣 回歸 茂呂 小袖 ○山田 龍雲 ○大和 鳥啼 ○山元 昭子 ○横山 晃秀 吉川 海斗
○吉田 三枝子 吉野 祥琴 ○渡邊 抱雲

<第5部 墨象・前衛>(26人)

○在間 實 ○安藤 小芳 ○上戸 抱山 ○太田 秋源 ○菊地 紀仁 ○北川 和彦 ○木村 蒼人
○木村 大猷 ○小嶋 康博 ○桜庭 青泉 ○佐々木 信象 ○塩崎 艸 ○高橋 蘇山 ○竹下 青蘭
○寺島 春代 ○照井 心磊 中島 青霄 西田 徹心 ○野坂 武秀 ○三上 雅倫 ○三上 山骨
○三上 禮子 ○湊 天邦 ○湊 久子 ○八重 柏冬雷 ○山崎 光雲

<第6部 篆刻・刻字>(12人)

○飯田 邦生 ○池田 敬岳 ○太田 幽琳 小田 島美翠 ○上山 天遂 ○萱 登柳 ○北濱 希石
○小泉 和雄 ○越坂 久雄 ○下山 遼堂 ○竹浪 翠堂 ○水島 栄美

(50音順・敬称略、2021年11月30日現在)

主催 北海道新聞社

後援 北海道 北海道教育委員会 札幌市 札幌市教育委員会 北海道書道連盟
(事務局) 〒060-8711 札幌市中央区大通西3丁目6 道新文化事業社内
TEL011-241-5161、FAX011-232-5147
(月～金10:00～17:00、土・日、祝日、年末年始は12月25日～1月4日まで休み)
URL <https://doshin-bj.jp>

新型コロナウイルス等による変更のご案内はホームページに随時掲載しておりますので最新情報をご確認ください。